みやぎのボランティア
市民活動情報誌

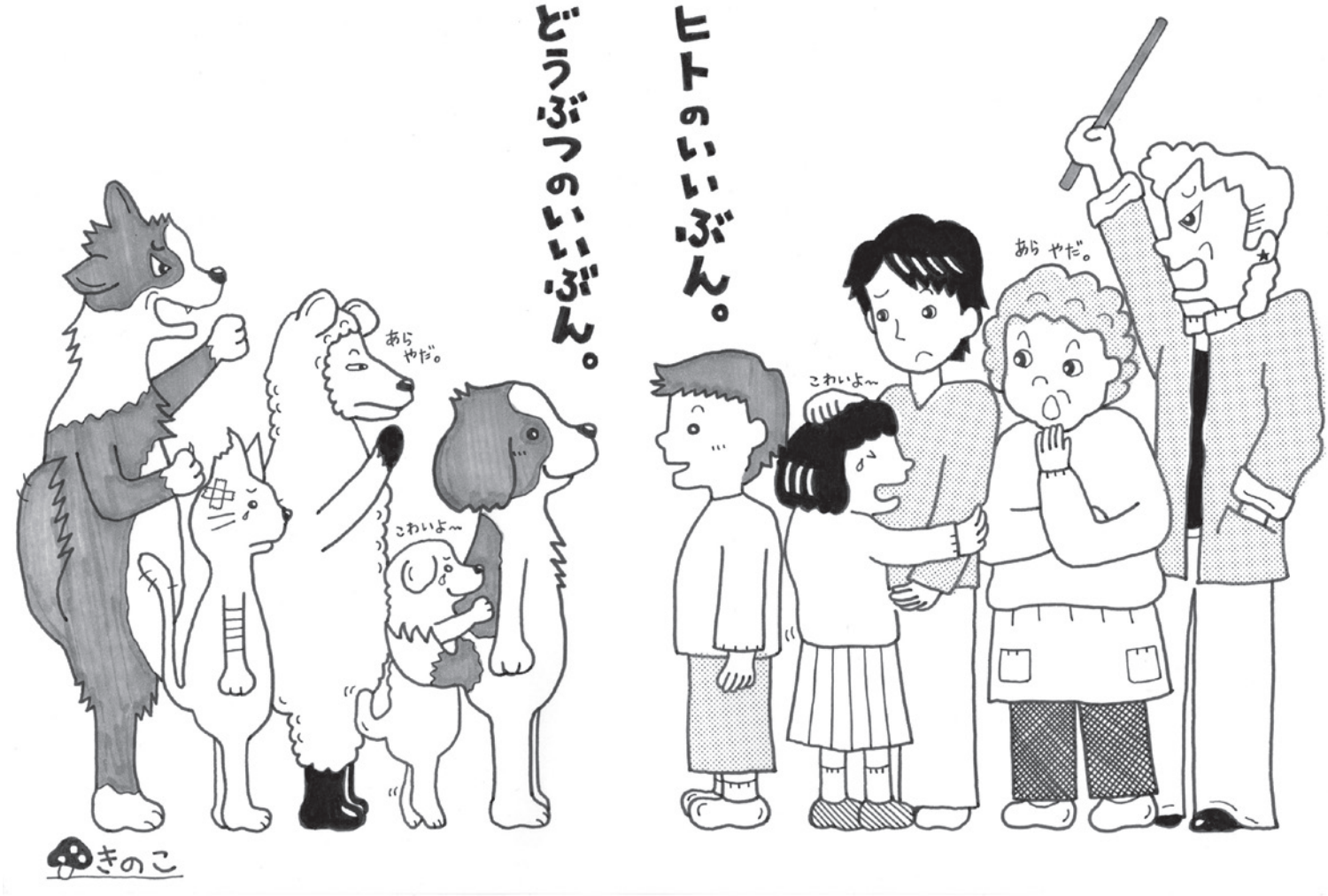
2015
vol.215

毎月1日発行

4月号

月刊 ゆるる

杜の伝言板



特集 動物を巡る話シリーズ第2弾

動物を巡る不幸な話

●第三回国連防災世界会議レビュー
千年後の「ただいま」のために私たちができること

●ほっこりお茶っこ飲みしませんか？
NPO法人おおさき地域創造研究会

●子育てもコミュニティづくりもみんなで

みやぎNPOプラザからのお知らせ

NPO夜学 〜踏み出す一歩を応援します〜

杜の伝言板ゆるる
ホームページ

特集　動物を巡る話シリーズ第２弾

動物を巡る不幸な話

大切な家族に見捨てられた犬猫は、そのあまりのショックから立ち直れず、食事も喉を通らず衰弱して死んでしまうことも多いそうです。人を信じ人に寄り添って生きてきた犬猫が、人の都合のいい身勝手な考えにより、つらい生き方を強いられたり殺されたりする……不幸な動物をこれ以上増やさないためにはどうすればいいのか。命を救う動物保護に取り組む人たちの地道な活動があります。

保護そして譲渡へ。命をつなぐ

「飼い主が亡くなり誰も引き取り手がいないから」「病気になって入院しないといけないから」様々な理由で、飼われていた犬猫が保健所に持ち込まれるケースが後を絶たないそうです。最近は高齢者からの持ち込みが多く、高齢者が飼っていた犬猫の大半は高齢です。

「若い犬は更生もできるし、病気もないから引き取り手が見つけやすい。でも高齢の犬猫はいろんなリスクがあって譲渡が難しいんです。譲渡できなければ処分されてしまいます」と、バトンタッチ代表・小松美岐子さんは話します。殺処分をしないために、バトンタッチでは保健所から犬猫を引き取って保護する一時預かりと、新たな飼い主に引き渡す「命をつなぐ」活動を続けています。

◀バトンタッチの譲渡会の様子

かつては全く無関心な対応で、保護した動物は「不要物」扱いだった保健所も、現在は協力して保護された犬猫をほとんど譲渡に結びつけています。「こんな犬が連れてこられたんだけど…」と保健所からの連絡も多く、譲渡先が見つかった黒パグ・サラもそんな犬の一匹でした。

サラは今年一月、雪が降るとても寒い日に、加美地区の道路でうずくまっているところを発見され、保健所に収容されました。すごく汚くて泥まみれでやせ細り、下腹部には大きな腫瘍があり、すぐに病院で診察を受けました。高齢で命の危険が伴う手術はできませんでしたが、懸命な看護と手厚い保護により日に日に元気を取り戻していきました。幸運なことに新たな飼い主が見つかるのに時間はかかりませんでした。バトンタッチを介し、被災した高齢の黒パグを譲渡した経験のある方が、また引き取りたいと手を上げてくれたのです。

バトンタッチされる現場から

三月四日午前十一時、新幹線・古川駅にて、新たな飼い主への引き渡し「バトンタッチ」が行われると聞き、現場へ駆けつけました。不安と期待の面持ちで一同が見守る中、早速、サラと新たな飼い主の赤羽みちえさんはご対面。すると、サラは尻尾を振って赤羽さんにすり寄り、今初めて会ったばかりとは思えない様子ですぐに懐いてしまいました。一同、心地よい安堵感に包まれました。

以前引き取った高齢で病弱なパグ・ぷぅは、懸命の看護が施されましたが二年余りで亡くなりました。「残りわずかな命だとしても、最高の治療と生活をさせてあげたいんです」と赤羽さん。せめて温かいところで

▶バトンタッチ小松さん(左)と赤羽さんとサラちゃん

残りの人生を過ごさせてあげたいという、小松さんの活動の根底にある思いと重なります。どこにも行き場のない動物は、病気だったり、年老いていたり…もう余命が短いとわかっています。飼い主は何度も死と向き合うことになります。飼い主にとって家族となった動物を失うことはとてもつらいことです。それでも助けてあげたいと思う人がいます。

行き場のない動物に向き合う

平成十三年、泉区にて一五〇匹の犬が劣悪な環境下で飼育されているという事件をきっかけに、その犬たちを保護する活動を始めたアニマルピースの菅原とみえさん。想像を絶する惨劇に、心身ともに疲労困憊する中で命を救う活動を続けてきました。

現在は、保健所からの引き取りと譲渡への活動をしながら、貰い手が無くてどこにも行くところがない犬猫十数頭を自宅で保護しています。飼い主が被災して飼えなくなった高齢の犬や飼い主が高齢で飼えなくなった高齢の猫、病気や障がいのある犬猫など、居場所がない命を最後まで面倒を見続けています。保護した犬猫は、病院で検査をして病気があれば薬を飲ませ、通院も必要です。高額の医療費とフード代など年間約八〇〇万の維持費が掛ります。そのすべては一般市民、個人の善意による寄付と自己負担です。また、約六十名ものボランティアに支えられていて、病院のお迎えやお散歩、一時預かり、イベントスタッフなど各自が「自分に今できること」をしています。

◀アニマルピース菅原さんと保護犬たち

長年活動を続けてこられたのは家族の協力があってのこと。一向に減らない飼育放棄の現状から「アニマルピースに連れていけばいいやという安易な発想があるんじゃないかと思い、個人からの引き取りはやめました。いつか終わると思いながら続けてきたけど、家族の疲労を考えるとあと三年で活動を引退したい。それまでに根本を変えたいんです」と菅原さんは決意しています。

動物のおかれた現状と改善を求めて

菅原さんは昨年度から宮城県動物愛護推進委員として、殺処分をさらに減少させる実現可能な対策や動物と共生できる社会の構築に向けた具体的な方法と改善を求めて提案しています。平成二十五年度における宮城県の犬猫引き取り数は、計三六三〇頭(内、返還数三二六頭、譲渡数七二〇頭、殺処分二五六一頭)でした。殺処分の詳細は犬二二七頭、猫二三三四頭(内、子猫二〇四三頭)となっています。

県内九か所ある保健所・支所に収容された犬猫は、一週間の猶予の後、動物愛護センターのガス室にて炭酸ガスで窒息死させられます。数十分もの間、もがき苦しんで死んでいくという悲惨な殺し方です。ガス室といえば誰もが「アウシュビッツ強制収容所」の悲劇のことを思うでしょう。人は犬猫に対して日常的に悲劇を繰り返しているといっても過言ではありません。

愛護センターだけでなく各保健所単位で、団体や個人ボランティアと連携し、協力態勢で譲渡を増やす対策が必要です。もっと県民と協力して保護活動を行い、県民一人ひとりの動物愛護に対する意識の向上につなげる必要があります。さらに、他自治体ですでに行われている麻酔注射による安楽死にする殺処分の見直しが急がれます。

犬猫を全くケアしない、不衛生な環境の中で飼う、食事を与えない、暴力をふるう、度を超えた多頭飼育など、いろんな虐待があります。「人のことが大好きだから近づいたのにひどい目に遭わされて、人のことが怖くなって自分を守るために凶暴になってしまった。そして、人に見捨てられ不幸な人生が始まった…」不幸な動物がおかれた状況と不幸な人間の人生はどこか似ています。動物のような弱いものへのいたわりのない社会は、高齢者や病気や障がいがある人など弱者にとって生きるのが厳しい社会に違いありません。人に寄り添う動物は野性動物と違って、人に保護されないと一人では生きられません。動物保護に関わる人たちの「二度とかわいそうなめに遭わせたくない。いま私にできることを精一杯したい」という思いをどう受け止めるか、今を生きる私たち一人一人に問われています。

（取材・執筆　黒森きのこ）

第三回国連防災世界会議レビュー

千年後の「ただいま」のために私たちができること

この半年、月刊ゆるるでも毎月その準備・取り組みを紹介してきた第三回国連防災世界会議が、ついに三月十四日から三月十八日にかけて、仙台市で開催されました。

国連防災世界会議では、五日間にわたる議論の末、「仙台宣言」が発表されるとともに、今後十五年間で各国が取り組むべき新たな防災や減災対策の指針となる「仙台防災枠組 2015-2030」が策定されています。

市民はどのように関わった？

会場となった仙台市、および宮城県は四年前に東日本大震災に見舞われており、その教訓から市民レベルでも防災への意識が高まっています。

しかし、国連防災世界会議はその名が示すように国連が開催するものであり、その本体会議は各国の代表が議論をする場です。基本的には一般市民がそこに参加し、発言するということはできません。

そこで政府首脳ら一部の関係者しか参加できない本体会議とは別に、誰もが参加できるパブリック・フォーラムが仙台市内の各地であわせて開催されました。

なかでも仙台市市民活動サポートセンターとエル・パーク仙台は、それぞれ「市民協働と防災」、「女性と防災」のテーマ館を担い、市民向けイベントが多数それらを会場として催されました。

「女性と防災」テーマ館となったエル・パーク仙台で「東日本大震災に学ぶ 大災害と子ども・子育て支援活動のあり方—宮城県子ども支援会議の事例から—」を十四日に開催した宮城県子ども支援会議事務局の岩切千佳さんは「のべ四〇〇名以上の人が参加してくださいました。まずは多くの人に来てもらえてよかったです。特に他県の人にも話を聞いてもらえたのは国連防災世界会議という入り口があったからこそかもしれません」と感想を話しました。

「市民協働と防災」テーマ館の運営を担った防災からまちづくりを考える実行委員会事務局長の伊藤浩子さんも予想以上に市民参加につながったと話します。「各イベントでの集客だけでなく、ボランティアに多くの市民が関わってくれたことに意義を感じています。一〇〇名以上のボランティアは正直想定していませんでした。企業を含め多様な人たちが協力して作り上げたテーマ館となり、市民協働を表したものとなったと思います。ここでのボランティアをきっかけに、防災だけでなく様々な市民活動テーマに自分事として関心を持ってもらうことができました。これからの仙台の街の力となる人が見えてきたのではないかと思います」と伊藤さん。

もう一つの防災会議

国連防災世界会議の開催期間中、三月十四日から十七日にかけ「市民防災世界会議」も開催されました。

「市民防災世界会議」は先述した「市民協働と防災」テーマ館の特別企画として開催されました。枠組みとしては国連防災世界会議の一環として位置づけられますが、世界の市民同士がそれぞれの情報を共有し合い、これから市民レベルで何をしていけるのかを考え合うということで、「もう一つの防災会議」ということもできます。

この市民防災世界会議を企画・運営したのは「2015防災世界会議日本CSOネットワーク（JCC2015）」。JCC2015は国内一〇四のNGO／NPOから構成されるネットワーク組織です。

「海外の防災会議に出ていて、日本の防災と世界の防災が共有さ

れていないこと、震災復興について日本と世界とで認識の差があることを実感しました。ちょうど仙台で国連防災世界会議という機会があるんだから、ネットワークを作って市民の声を発表していこうじゃないか」という経緯でJCC2015が組織された、と事務局を務めた一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター理事の合田茂広さんは話しました。

市民防災世界会議では、十四日から十六日にかけては、仙台市市民活動サポートセンターを会場に九つのテーマ別セッション、十七日に締めくくりとなるメインイベントが東京エレクトロンホール宮城を会場に催されました。

また、十四日と十六日のセッション終了後には本体会議レポートが実施され、国連防災世界会議で何が議論されているのか、を一般の市民と共有するための場が作られました。

市民防災世界宣言

会期中、二つのテーマ館と勾当台公園に設けられた「ピープルズ・パビリオン」には、参加者が自由に書き込めるメッセージボードが設置されました。そこに寄せられた八〇〇人以上からのメッセージを紡いで、一つの文書としたものが市民防災世界宣言です。

十七日に催された市民防災世界会議メインイベントの最後に、この市民防災世界宣言が発表されました。「震災を忘れたくない」「震災を風化させない」「将来への備えとしなければ」……。こういった多くのメッセージが宣言文書の形で結晶したのです。

「前回神戸で開催された第二回国連防災世界会議での市民参加は約四万人、今回は十五万人以上の市民が参加しました。その数だけを見ても市民参加型の防災会議としては成果があったと見ています。でも、大切なのはこれからです。今回各イベントに集まった市民が、そこで学んだことや話し合われたことをいかに自分の地域や所属する団体に落とし込んでいけるか。市民防災世界会議が成功だったかどうかは、これからにかかっています」と、合田さん。

今回の国連防災世界会議を火種にして、私たちはこれからも地域で自分たちに何ができるのかを考え、議論し、各地の市民防災に点火させていかなくてはなりません。

（取材　大西　直樹）

▼市民防災世界宣言

～千年後に夢を込めて～

あの千年に一度の大震災から4年が経ちました。わたしたちはたくさんのつらい思いをしましたね。津波に飲まれた車、家、人。今でも続く原発事故の被害。家族を探しにいって犠牲になった人。今でも見つかっていない人たちがたくさんいます。心から、早く見つかりますように。

それでも助かった命、大切にしたいです。苦難に負けない強さと思いやり、大きな助け合い、あの日の悲しみを繰り返さないように。あの怖さ、忘れずにどう活かすのでしょうか。冷静に命を守り、助け合って、乗り越える。今一度備えをしっかりと。

わたしたちは絶対に忘れない。だって、またくるから。だから忘れないで下さい。自然の前では人の力は弱いものですね。でもだからこそ、わたしたちの弱い力を集めて大きな力にするんです。

世界のみんな、ありがとう。本当にありがとう。たくさんの支援を頂きました。国境を越えて、人と人のつながりに心暖まりました。このきずな、大切にしたいです。

だから、わたしたちは助け合います。毎日の小さな決断に思いやりの心をつむぎます。みんな一人一人が意識をもって備えて、協力するのです。だって、本当に大変な時、助け合いで生かされたから。

わたしたちは絶対に忘れない。

わたしたちは立ち直ります。見ていて下さい。災害は忘れた頃にやってきます。いつも笑顔で暮らせるように、常に防災を意識して、次の世代へ知恵を、記憶を、語り継ぎます。「あわてず、落ち着いて行動するんだよ。」だから普段の心構えと、災害にあっても負けない心を育むのです。助け合って、まちづくり、ひとづくり。絆を、思いやりを深く、見えないものに頼り過ぎないように。

あなたも、わたしも、リーダーですよ。あなたも、わたしも、夢を持って、一緒にやろうね。

みんな持っている大切なもの、取り替える事ができないもの。命です。大切にします。ひとりひとりの命。普段の生活って、幸せなんですよね。

「大丈夫だよ。聞かせて。心と心がつながっているの。」光のように、波のように。一人一人の優しい心を未来へ繋いでいきましょう。

Love and peace。ありきたりだけど、世界中が心一つに仲良く暮らせますように。みんな願っています。その為にわたしたちは違いを受け入れて、笑顔で協力しあいます。

明日も「ただいま」って言えますように。

2015年3月17日 市民防災世界会議参加者一同

子育てもコミュニティづくりもみんなで

三月七日(土)、名取市市民活動支援センターで市民活動パネルトーク『子育てもコミュニティづくりもみんなで』が開催されました。

パネラーは石巻市で「お産と子育てに強いまちづくり」をスローガンに活動するNPO法人ベビースマイル石巻代表理事の荒木裕美さん、大崎市で自治組織や若者、女性などと共にコミュニティ活動支援をしているNPO法人おおさき地域創造研究会の理事・事務局長の小玉順子さん、そしてコーディネーターは、名取市で一年前に設立された中間支援組織NPO法人パートナーシップなとりの代表理事であり、尚絅学院大学教授の阿留多伎眞人(あるたきまこと)さんです。

子育てに優しいまちづくり

荒木さんは震災時、子育てに困難な環境に身を置いた経験から、子育てに必要な物資や情報を当事者目線で共有し、ママ達を繋ぐ「居場所」づくりに取り組んできました。特に毎週開催されるボンボンカフェは、未就園児の子育て中のママや妊婦さんたちにとって楽しい、いろいろ相談できる貴重な場となっています。

▶パネルトークにて(奥右：荒木さん、奥中：小玉さん、奥左：阿留多伎さん)

さらに地域の人達を巻き込み、様々なイベントを通し、多様な角度から子育て環境を知ってもらう機会もつくっています。

「子育て世代だけでなく、世代を超えて地域の皆さんに自分達の活動を知らせ、受け入れてもらうことが、子育て環境の充実や、子どもを産み増やしたいと思う地域に発展していくと考えています。これからもママ達の想いや視点を取り入れ、子どもたちが安心して暮らせる新しい石巻をつくっていきたいです」と抱負を語りました。

話合いの場から生まれるもの

二〇〇六年三月に古川市と六町が合併して大崎市となったことで、地域コミュニティが変わったと感じた小玉さんが今後の地域づくりを考えた時、従来の話合い方に固執せず、次代を担う子育て層や若者の声を積極的に集めよう、と幅広い層を巻き込んだコミュニティづくりに関わる活動を始めました。

「何事も楽しくないと続かない。」と小玉さん。「食べる・しゃべる・広めてくれる女性」をターゲットにしたイベントや、地元人が町をガイドしてくれる「街かどコンシェルジュ」など、魅力的な企画の数々にそれが表れています。

「NPOの財産はネットワーク。一人で解決できないことは一緒に考える場をつくること。それが課題解決に繋がるんです。だから若者を視野に毎月〝話さナイトカフェ〟を開催しています。「話合う」居場所として、少しずつ定着しつつあります。今後も情報が集まる拠点であることを強みに、コミュニティ力をアップしていきたいです。」と小玉さんは熱く話しました。

コーディネーターとして持ち味のユニークな話で場を和ませながら進めた阿留多伎さんは、

「お二人の熱意がとても伝わってきました。待っているのでなく、こちらから働きかけ、行動を起こし、市民を巻き込むことで地域が動く。まさに私にとっても沢山の教えを得たパネルトークになりました。」と締めくくりました。

地域づくりは、多様な世代がそれぞれを理解することから始まります。今回の参加者は三十歳代から七十歳代まで。多くの気づきがあったことでしょう。

(取材担当：阿部倫子)

ほっこりお茶っこ飲みしませんか？

●NPO法人おおさき地域創造研究会
事務局スタッフ　館澤 頼子

こんなタイトルで二〇一四年一月からスタートしました。現在まで、全十五回、のべ二四二名の方にご参加いただきました。

開催前は、沿岸部や大崎市外から避難してきている方が大崎市内に点在する「みなし仮設」で「どう過ごしているのか？」「地域に溶け込んでいるのか？」「故郷から離れ孤立しているのではないか？」と、私たちNPOだけでなく、行政も十分には把握できていない状態でした。

沿岸部や大崎市外から多くの方々が避難してきていることは、情報としてあったのですが、具体的に「どこに」「誰が」「どこから」などの情報は「個人情報保護法」の壁に阻まれ、私たちでは知ることができませんでした。

しかし、大崎市の「災害公営住宅入居者の支援に係る担当者会議」へ参加させていただいたことがきっかけとなり、この企画を考え、戸別訪問している健康推進課の看護師さんにチラシを託し、「お茶っこ飲み会」の告知をしていただくことが出来ました。また、まちづくり推進課と共催ということで大崎市広報へも掲載していただき、広くお知らせすることも出来ました。

始まったお茶っこ飲み会

そして、念願の「第一回ほっこりお茶っこ飲みしませんか？」の開催。やはり、初めての開催ということもあり、自己紹介とご自身の被災体験とをお話しする中で、涙ぐむ方も多数おられました。

「被災体験」を話すことで心が軽くなる方、「思い出したくない」「もう前に進みたい」と思う方など、様々な思いを持った方が参加される中で、どのように進めて行けば良いのか試行錯誤しながら会を進めてきました。

最初はなかなか打ち解けることができなかった方が何度も対話していくうちにだんだんと表情が柔らかくなっていき、いつの間にか私たちの事務所にお土産を持ってきてくれるまでの関係になりました。その方が昨年末、地元に戻ることになった際に「ほっこりお茶っこ飲み会があってくれて良かった」と話してくださいました。一人でもそのような方がいらしたことで、私たちも「続けて来て良かった」と心から嬉しく思います。

最近では、参加者の一人が先生となってフラワーアレンジメントをしたり、古川祭りに向けて参加の皆さんと一緒に「七夕飾り作り」のデザインを考えたりと、皆さんに楽しく過ごしていただけるようにプログラムを組み立てています。ちなみに四月は「じょいんと畑」と名付けた事務所裏の畑での作業が開始します。今年はどんな作物を栽培していきたいか、それを使ってどんなことをしたいのか、参加者同士で話し合い、計画を練っています。

ただ、会って話すだけの関係性だった参加者同士が、「あら、あの人今日は来てないね。どうしたの？」「また、来月も会いましょうね」と言ってお互いを思いやる関係性へと変化してきました。少しずつではありますが、こうやって良い関係性を築いていけるよう「ほっこりお茶っこのみしませんか？」を続けて行きたいと思います。

▶ほっこりお茶っこの様子

NPO法人おおさき地域創造研究会
〒989-6134　大崎市古川米倉字屋敷42-1
●TEL：0229-25-9956
●URL：http://otsk-kiratto.org/

NPO夜学

～踏み出す一歩を応援します～

みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPOプラザからのお知らせです。

NPO夜学ってなに？

NPO夜学（＝以下「夜学」）はNPO・市民活動について学び、実際に市民活動に関わっていく人材の育成、ならびに既存のNPOに自分のスキルを提供できる人材の育成を目的に、昨年度より開催しています。対象は市民活動に興味のある社会人や学生など。毎回様々な「NPOとの関わり方」をテーマに全六回開催し、延べ一〇二名が参加しました。夜学は働きながらでも、市民活動に係わるきっかけが作れるように、夜間に開催しています。毎回、多様な分野で活躍しているNPOのリーダーをゲストに迎え、各テーマに沿って話をしてもらいます。その後、ゲストを交えて参加者同士でワークショップを行う参加型のプログラムです。

新たな発見・出会い・つながり

今回は、第五回「一緒に活動する仲間を見つける」ゲストのNPO法人ボランティアインフォ代表理事・北村孝之さんと、夜学に運営ボランティアとしても参加をした東北大学経済学部研究科研究生のアメッド・ゼバさんに感想を伺いました。

北村さん「自分の組織について対外的なイベントで話すのは夜学が初めてでした。お話しする内容を考えることで自分の活動について改めて振り返るきっかけにもなりました。当日は参加者の皆さんが真剣に話に耳を傾けてくれている姿が印象的でした。また、夜学をきっかけに新しいつながりができ、参加者が活動している団体のボランティア情報の発信、イベント運営のサポート等をお手伝いする運びとなりました。今後もメンバーとの情報共有を大切に、全体で同じ方向を向いて活動していけるように組織の運営基盤を強化していきたいです」。

アメッド・ゼバさん「日本のNPOに興味があり、現状について知りたいと思い参加をしました。ゲストの話や参加者との話のなかで、ボランティア活動に興味のある方やこれからボランティア活動を始めたい方の理由として、自分の生活のなかで社会に対して何かしらの違和感や問題意識を持っている方が多いように感じました。夜学に参加をして改めて感じたことは、現状の社会課題を嘆くことだけでなく、その課題に対して自ら解決策を考え、行動することが何より重要だということです。自分にできることがたとえ小さなことでも『やれば変わる』そう信じています。今後は、コミュニティ形成の研究を続けていくと共に、就職後もずっとボランティア活動をしていきたいです」。

◀ゲストを囲んでのディスカッションの様子

想いを一歩先へ

このプログラムを「きっかけ」に新たな市民活動の担い手が生まれることを目指して、今年度も更にブラッシュアップを重ね開催する予定です。自分に出来る社会貢献を参加者同士で熱く語り合い、最初の一歩を一緒に踏み出しませんか。

プラザのNPO講座・相談

お申込みはコチラから

法人設立・運営相談	毎週水曜日　13:00～17:00
会計・税務相談	4/21（火）　13:00～17:00
雇用なんでも相談	4/24（金）　13:00～17:00

みやぎNPOプラザ
〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
（指定管理者：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる）
☎ 022-256-0505
022-256-0533
✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。
みやぎNPO情報ネット
http://www.miyagi-npo.gr.jp/

今月の

助成金情報

※詳細については、それぞれのホームページ等の要項をご確認ください。

2015年度（第13回）ドコモ市民活動団体への助成

●助成対象：【子ども分野】
「子どもを守る」をテーマに、子どもたちの健やかな育ちを応援する活動
【環境分野】
「環境を守る」をテーマに、これからの地球や地域の環境のためになる活動
詳細は、下記URLをご覧ください。
●対象団体：民間の非営利活動団体でNPO法人などの法人格を有するもの、または取得申請中の団体で8月末までに法人登記が完了見込みの団体
●助成金額：1団体あたり標準50万円、上限100万円
●応募締切：4月24日（金）
●連 絡 先：NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド
TEL：03-3509-7651
（平日10:00～18:00 土日祝除く）
URL：http://www.mcfund.or.jp/

第5回　東日本大震災特別助成

●助成対象：⑴地域安全事業
①地域社会との連携による安全・安心なまちづくりを図るための活動
②子どもの安全を図るための活動
③女性や高齢者を守るための活動
④少年の非行防止と健全育成を図るための活動
⑤犯罪被害者を支援する活動
⑵団体基盤整備事業
現在「地域安全事業」を実施している団体の財政基盤を整備する事業
●対象団体：岩手県、宮城県、福島県内に所在している公益法人、NPO、ボランティア団体・グループ（町内会やPTA含む）など、公益事業・非営利活動を行う団体（法人格の有無不問）
●助成金額：1事業50万円上限
●応募締切：4月30日（木）17時必着
●連 絡 先：公益財団法人日工組社会安全財団
FAX：03-3219-2338
URL：http://www.syaanken.or.jp/

東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド「GB Fund」

●助成対象：①被災者・被災地を応援する目的で行われる芸術・文化活動
②被災地の有形無形の文化資源を再生していく活動
③その他、当ファンドの目的に合致すると判断される活動
●助成金額：1事業につき上限50万円
●応募締切：4月30日（木）
●連 絡 先：公益社団法人企業メセナ協議会「GBFund」係
TEL：03-5439-4520
URL：http://www.mecenat.or.jp/gbfund/

平成27年度 WAM助成（社会福祉振興助成事業）

●助成対象：NPOやボランティア団体などが行う民間の福祉活動
●対象団体：NPO法人、社会福祉法人等、社会福祉振興に寄与する事業を行う法人、団体
●助成内容：詳細はWAMホームページに掲載予定の「募集要領」等をご覧ください。
●連 絡 先：独立行政法人福祉医療機構（WAM）
（助成事業部 助成振興課）
TEL：03-3438-9942
（助成振興課 月曜～金曜 9:00～17:00）
URL：http://hp.wam.go.jp/

2015年度ニッセイ財団　高齢社会助成 地域福祉チャレンジ活動助成

●助成テーマ：地域包括ケアシステムの展開につながる、
①認知症（若年認知症含む）の人の地域での生活を支えるチャレンジ活動
②サービスの創出に向けてのチャレンジ活動（独自財源づくりを含む）
③インフォーマルサービスとフォーマルサービスの連携による地域づくりに貢献するチャレンジ活動
④医療と介護の連携を実現するためのチャレンジ活動
●対象団体：助成テーマにチャレンジする意欲がある団体で、他の団体、機関、住民組織等と協働で活動する団体（法人格の有無不問）
●助成金額：2年間最大400万円（1年最大200万円）
●応募締切：5月31日（日）当日消印有効
●連 絡 先：ニッセイ財団　高齢社会助成　事務局
TEL：06-6204-4013
URL：http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp

第13回「配食用小型電気自動車寄贈事業」

●対象団体：①1年以上継続し、週1回以上、調理・配食・友愛サービスを一貫して行っているグループ（NPO、非営利の公益団体、公益法人等）ただし、実施している給配食サービスがすべて行政等からの受託であるグループは対象外
②現在の活動を継続するにあたって、配食用の車両が不足しており、本寄贈により運営の円滑化が見込まれるグループ
●助成金額：100万円（配食用小型電気自動車1台分）10台分（10グループ）予定
※寄贈が決定したグループには助成金にて指定業者から車両を購入いただきます。
●応募締切：6月5日（金）当日消印有効
●連 絡 先：公益財団法人みずほ教育福祉財団　福祉事業部
TEL：03-3596-4532
URL：http://www.mizuho-ewf.or.jp/

●連 絡 先：みやぎNPOプラザ（連絡先はP8をご覧ください）
URL：http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/jigyou/koza_m20150423.html

4/24 留学の説明会

語学学校ってどうやって選べばいいの？　英語以外の言語も勉強できるの？　そんな方に朗報です。世界中に校舎を持つ語学学校スタッフの方をお招きしての説明会で、直接お話を聞いてみましょう！

●日　　時：①アメリカ・カナダ説明会
4月24日（金）17:00〜19:00
②ヨーロッパ説明会
4月25日（土）10:00〜12:00
●場　　所：留学支援協会ラウンジ
●定　　員：10名程度
●参 加 費：無料
●申込方法：下記連絡先まで、TEL・E-mailで事前申込要
●申込締切：なし（ただし、参加者多数の場合は予約者優先、早期締切となります）
●主　　催：NPO法人留学支援協会
●連 絡 先：TEL：022-302-7741
E-mail：info@npostudyabroad.jp

4/25 働く女性のpotluck meeting「“わたし”をプロデュース」

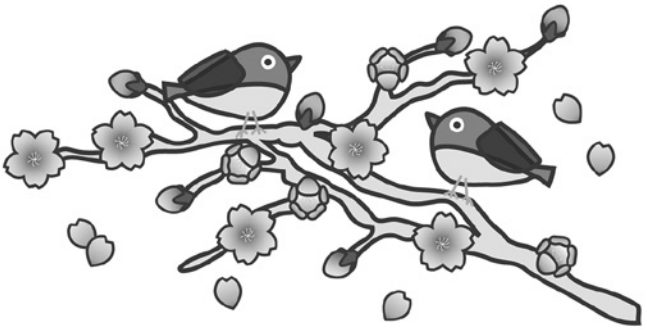
会社や社交の機会などの大事な局面には、イキイキとした表情で臨みたいもの。職場の仲間やお客様に、自分をどう「見せていく」かも働くうえで、とても重要なポイントです。ビジネスの様々な場面で使えるポイントメイクを習得し、さらにあなた自身をパワーアップさせましょう！

●日　　時：4月25日（土）9:00〜10:30
●場　　所：エル・ソーラ仙台　大研修室（アエル28階）
（仙台市青葉区中央1-3-1）
●定　　員：働く女性20名（先着順）
●参 加 費：2,500円（メイク材料&飲物付）
●申込方法：下記申込フォームから申込み
https://ssl.sendai-l.jp/cgi-local/index3.cgi
●託　　児：4月16日（木）までに要申込
※託児対象は原則として、6ヶ月以上小1まで。お子さん1人あたり300円
●連 絡 先：エル・ソーラ仙台
TEL：022-268-8044　FAX：022-268-8045
URL：http://www.sendai-l.jp/

4/26 Anego Tea Party 多様性を感じるアネゴ・ティーパーティ

「カワイイ」と感じるモノは人それぞれ。みんなで「カワイイ」と思うモノを持ち寄って「カワイイ」の多様性を感じます。お気に入りの「カワイイ」をみんなに紹介or自慢してください。自慢のカワイイ一品がある人も、みんなのカワイイが気になる人も、スイーツ目当ての人も、カワイイものに囲まれてみんなで楽しくお茶しましょう！

●日　　時：4月26日（日）14:00〜16:00
●場　　所：仙台市市民活動サポートセンター　4階研修室5
（仙台市青葉区一番町4-1-3）
●内　　容：あらゆるセクシャリティの人が尊重されることをめざして、2007年より仙台を中心に活動しているAnegoによる「多様性を感じるお茶会」です。性別、セクシャリティ、年齢、国籍、障がいの有無など一切関係なく、どなたでも参加できます。
●参 加 費：500円（当日受付でお支払いください）
※要事前申込
●申込方法：下記申込みフォームから、お申込みください。E-mailでお申込みの場合は、件名に「Anego Tea Party 参加」として、FAXの場合は、「No.26Anego宛 Tea Party参加」と目立つように記入し、氏名（ニックネーム可）を明記のうえ、お申込みください。※返送のFAX不要の場合は、その旨をお書き添えください。
●申込締切：4月25日（土）
※スイーツの準備がありますので、必ずお申込みください。
●主　　催：Anego
●連 絡 先：E-mail：anegosendai@yahoo.co.jp
FAX：022-268-4042（No.26Anegoと明記）
URL：申込みフォーム
http://form1.fc2.com/form/?id=568798
http://blog.canpan.info/anego/



情報をお待ちしています

○申込方法：問合せ先を明記の上（初めてご利用いただく団体は団体概要も添付）、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。　掲載は無料です！
○締切：毎月15日（翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します）
○誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852　仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL：022-791-9323　　FAX：022-791-9327
e-mail：npo@yururu.com

編集後記

暖かな日差しや、草花の芽吹きに春を感じ、ほっとさせられる一方で、花粉症対策にも力が入る今日この頃です。昨年までは大した症状がなかったのですが……目と鼻がむずむず。同じ症状をお持ちの皆さま、様々な対策法を試しながら、この時季をともに乗り切りましょう！（阿部）

3月14日だけですが、ボランティアスタッフとして市民防災世界会議に参加してきました。あたり前のことですが、海外からの参加者が多く、ドギマギ……。昔は日常会話くらいならこなせたはずが、まったく言葉が出てきません！　継続は力なり、といいますが、こと言語に関しては特に顕著にそれが表れるものだなぁと、防災とは関係のないことに考えが及んでいました。もちろん、防災も継続が大事！　とはいえ継続って苦手なんですよねぇ。（大西）

4/19 ドキュメンタリー上映会/シンポジウム「子どもを育む地域づくりを考える」開催

震災で大きな被害を受けた石巻市立雄勝小学校で実践した復興教育を追ったドキュメンタリーを上映します。第2部では、地方で深刻化する過疎化、少子化にスポットを当て、これを希望ある循環に変えるために必要なことは何か？など、子どもを育む地域のあり方を皆さんと共に考えます。

●日　　時：4月19日(日)14:00〜16:00
●場　　所：ビッグバン 文化交流ホール
石巻河北総合センター
(石巻市成田字小塚裏畑54番地)
●内　　容：【第1部】上映会
「ぼくたちわたしたちが考える復興」
石巻市立雄勝小学校震災2年目の実践
【第2部】パネルディスカッション
「子どもを育む地域づくりを考える」
【展　示】「希望の船」180×90㎝の巨大木版画の作品展示　2012年雄勝小学校5年生制作
●定　　員：350名(定員になり次第締切)
●入 場 料：前売券500円／当日券600円
※10名以上の申込みは、1名につき100円割引
●申込方法：下記連絡先に、氏名、住所、TEL、参加人数をお知らせください
こちらの申込みフォームからもお申込みいただけます
https://ssl.form-mailer.jp/fms/100efa96352056
●連 絡 先：NPO法人雄勝まちづくり協会
TEL/FAX：0225-90-3770(受付10:00〜17:00)
休館日：第2、４火曜日／毎週水曜日
E-mail：sympo419@gmail.com
URL：http://www.o-link.org/

4/19 健康的に歩いて巡る地域の歴史散策〜仙台三十三観音巡り〜

仙台の三十三観音は全て市内の交通の便の良い所にあるにもかかわらず、あまり存在を知られていません。三十三観音札所をマップにしがたって3回に分けて歩いて巡ります。運動と共に参加者の交流をはかり、歴史ある伊達街仙台の認識を深めることが目的です。

●日程行程：◆【第二行程】4月19日(日)12番〜25番札所
「新寺・木ノ下札所が多く12番札所から25番札所の第二行程地域」
集合場所・時間：みやぎNPOプラザ・婦人会館前(榴ヶ岡)集合8:45　出発9:00
◆【第三行程】5月17日(日)26番〜33番札所
「四郎丸・六郷・三十三番目札所までは歩く行程が最も長い26番札所から33番札所までの第三行程地域」
集合場所・時間
①JR南仙台駅前1番バス乗り場前集合8:00
②落合観音堂境内(四郎丸)集合8:45
出発9:00
◆【第一行程】6月21日(日)1番〜11番札所
「四季折々の表情を持つ亀岡・八幡・新坂・東照宮・本町第一行程地域」
集合場所・時間：宮城県美術館駐車場前
集合8:45　出発9:00
●定　　員：50人
●参 加 費：各コース毎、楽遊ネットワーク宮城会員2,000円、一般2,500円(レジャー保険料・小冊子含)
●持 ち 物：全行程徒歩で廻ります。各自おにぎり持参で歩きやすい服装にてご参加ください
●申込方法：下記連絡先にTEL・E-mail・FAXで申込みのうえ、下記振込先へ参加費を振込み
申込み時、参加希望コース、参加者氏名(ふりがな)、住所、TEL・E-mail、参加人数、会員の有無をお知らせください。下記URLからもお申込みできます。
http://www.eikaiwa-sendai.jp/rakuyuu.html
●振 込 先：郵便貯金総合通帳　記号18100　番号1606691
特定非営利活動法人楽遊ネットワーク宮城宛て
●主　　催：NPO法人楽遊ネットワーク宮城
●連 絡 先：TEL：022-261-9869　FAX：022-261-0546
E-mail：eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp
URL：http://www.eikaiwa-sendai.jp/rakuyuu.html

4/22 「宵の口」から始まる「話す場」話さナイトカフェ

昨年の3月から始まったトークカフェ。リラックスした状態で話し合います。4月のテーマは、ミチヅレナイトカフェ〜合言葉は、「今日一緒に行きませんか」良いアイディアが浮かんだり、新しい方と出会う機会、ぜひお越しください。

●日　　時：4月22日(水)18:30〜21:00
●場　　所：大崎市まちづくり支援センター「きらっと」
(大崎市古川米倉字屋敷42-1)
●定　　員：20名(先着順)
●参 加 費：500円(飲み物・軽食付)
●申込方法：軽食の関係上、要予約
●主　　催：NPO法人おおさき地域創造研究会
●連 絡 先：〒989-6134　大崎市古川米倉字屋敷42-1
TEL：0229-25-9956
E-mail：mail@otsk-kiratto.org
URL：http://otsk-kiratto.org/

4/23 総会運営のコツ

総会では何を決めるの？いつから準備を始めればいいの？総会の資料には何を載せたらいい？…そんな疑問はありませんか？総会は、団体の一年の成果を会員に報告し、事業運営の方向を決める大切な場です。団体の想いが「分りやすく、正確に」会員に伝わる総会運営のコツを、やさしく解説します。

●日　　時：4月23日(木)14:00〜16:00
●場　　所：みやぎNPOプラザ　第2会議室
●講　　師：大久保 朝江さん(みやぎNPOプラザ館長、認定NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)
●内　　容：★NPOにとって総会とは？
★活動内容が伝わる事業報告書や計画書のつくり方
★開催までの準備のスケジュールの立て方
★総会当日の流れや終了後の手続き…など
●対　　象：NPO・市民活動団体のメンバー、関心のある方
※法人格の有無不問
●定　　員：20名(申込先着順)
●参 加 費：800円(税込)
●申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
FAX・E-mailで申込みの場合、下記連絡先URLより申込書をダウンロードし、必要事項を記入してください
●主　　催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
●企画・実施：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる

●申込方法：下記連絡先へTELで申込み
●そ の 他：当日ご参加の皆さんへ「エンディングノート」を進呈いたします。
●主　　催：つるがや元気会
●連 絡 先：ひまわり手芸店（担当：芦澤）
TEL：022-251-5663

4/18 4月 大切な人を亡くした方のわかちあいの会

わかちあいの会では、ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、辛いお気持ちなどを、静かに語り合います。日常生活で語れなかったことを、ご遺族同士でわかちあっていただく安心な場所です。

●日時場所：◆仙台会場4月18日（土）【毎月第3土曜日】
・時間：14:00〜16:30開催
・場所：あしなが育英会仙台レインボーハウス（仙台市青葉区五橋2-1-15）
◆気仙沼会場4月25日（土）【偶数月第4土曜日】
・時間：13:00〜15:30開催
・場所：気仙沼市民健康管理センター「すこやか」（気仙沼市東新城2-2-1）
●対　　象：大切な方を亡くされた方（死因は問いません）
●参 加 費：無料（事前申込不要）
●申込方法：不要　※託児をご希望の方は要事前問合せ
●そ の 他：今後の各開催場所については変更する場合有、チラシ、ホームページ等でご確認願います
●主　　催：NPO法人仙台グリーフケア研究会
●連 絡 先：〒983-0851　仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザ内
TEL：070-5548-2186
E-mail：griefoffice@gmail.com
URL：http://www.sendai-griefcare.org/

4/18 2日間で学べる 売れる！集まる！つながる！ プロが教える市民のための広告づくり基礎講座

「自社の商品を知らせたい」「イベントの告知をしたい」などより多くの人に広く知らせる手段として、広告ツールは欠かせません。そこで、広告業界で活躍しているプロフェッショナルがそのノウハウをやさしく伝授します。多くの人の目に留まる、効果的な広告づくりの知識と技術を身につけましょう！！

●日　　時：4月18日（土）、4月19日（日）
両日とも13:30〜16:40
●場　　所：せんだいメディアテーク　7階会議室b
（仙台市青葉区春日町2-1）
●内 容 等：【18日】
◆講座A 13:30〜「写真撮影・加工術」
◆講座B 15:10〜「インターネット活用術」
【19日】
◆講座C 13:30〜「今日からあなたもコピーライター！」
◆講座D 15:10〜「印刷物のデザイン術」
●定　　員：20名（先着順）
●参 加 費：1講座あたり1,500円、
全4講座5,000円（一括割引）
※1講座毎のお申込みは、当日会場支払い
※全4講座一括割引場合は、申込み後に下記口座に5,000円をお振込み（手数料負担）
なお、ご入金後の返金不可（受講者の変更は可能）
●申込方法：下記申込専用メールフォーム、もしくは、E-mailかTELで申込み
申込時、希望講座（A〜D）、フルネーム、TEL、E-mailをお知らせください
申込専用フォーム
http://mediadesign.jp/article-3342/
●振込先口座：◆ゆうちょ銀行　八一八店（818）
普通預金　1172895
名義：シヤ）メディアデザイン
※ゆうちょ銀行口座からの振込みは手数料無料
◆仙台銀行　黒松支店（店番202）
普通預金　3347081
名義：シヤ）メディアデザイン
●主　　催：一般社団法人メディアデザイン
●連 絡 先：TEL：090-3049-0613
（担当：千葉 平日日中のみ）
E-mail：kouza@mediadesign.jp
URL：http://mediadesign.jp/

4/19 親子で光の箱ワークショップ

東北芸術工科大学准教授・松村泰三氏が考案した、光の箱のワークショップをします。

●日　　時：4月19日（日）13:00〜16:00
※製作時間はおよそ90分
●場　　所：みやぎNPOプラザ（仙台市宮城野区榴ヶ岡5）
●参 加 費：1,500円
●申込方法：下記連絡先にTEL・FAXで申込み
●連 絡 先：NPO法人コ・クリエーションセンター
TEL：022-353-5311 FAX：022-353-5312
URL：http://www.ccc-japan.jp/

縦覧中

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます
■宮城県
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html

NPO法人の設立を新しく申請した団体

宮城県等所轄分2月11日〜3月10日
仙台市所轄分2月11日〜3月10日

	団体名	所在地	活動内容	受理日
宮城県等	ポラリス	山元町	障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業等を行うもの	3/2
仙台市	STAスポーツ振興協会	若林区	スポーツ・文化に関する教室企画・クラブ運営事業 スポーツに関する指導者育成事業 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	2/25

NPO法人に認証された団体

宮城県等所轄分2月11日〜3月10日
仙台市所轄分2月11日〜3月10日

	団体名	所在地	活動内容	認証日
宮城県等	生涯発達支援センター	仙台市	仙台市において、放課後等デイサービス事業等を行うもの	3/3
	nippon collaboratory	仙台市	地域文化に係る情報収集及び研究のほか、欧州、北米において文化交流事業を行うもの	3/4
	スパっと鳴子温泉自然エネルギー	大崎市	自然エネルギーを活用した発電事業	2/16

宮城県のNPO法人数　788団体
宮城県等所轄：372団体
仙台市所轄：416団体
※2015年3月10日現在

●申込方法：TELまたはFAXにて
※悪天候や会場予約状況によって変更する場合があります。ご心配な方は事前にお問い合わせの上、お申込みください
●主　　催：認定NPO法人ばざーる太白社会事業センター（略称：ビートスイッチ）
●連 絡 先：〒983-0852　仙台市宮城野区榴岡1-7-15 サニービル1002
TEL：070-5320-8928　FAX：022-292-7162
URL：http://npobtswc.p2.bindsite.jp/report.html

4/12 京都府条例に学ぶ！市民参加の条例づくり

京都府条例制定を目指し活動してきた、制定運動と深いかかわりを持つ京都の「日本自立生活センター」の小泉浩子さんをお招きし、京都で日本初の女性障がい者差別の条例制定の経緯や内容、条例制定までに、どのように一般市民の方々へ働きかけをおこなってきたのか、また行政との協同を進めてきたのか、お話をお聞きします。

●日　　時：4月12日（日）14:00〜16:30（開場13:45〜）
●場　　所：仙台市福祉プラザ11階　第1研修室（仙台市青葉区五橋2-12-2）
●内　　容：講演テーマ／「差別」をなくしたいという思い。〜京都の取り組みから〜
講師：小泉浩子さん（日本自立生活センター）
討論会テーマ／京都府条例に学ぶ〜市民参加の条例づくりを求めて〜
●定　　員：74名
●参 加 費：無料
●申込方法：申込不要、直接会場へお越しください
●情報保障：手話通訳・要約筆記有
●主　　催：誰もが暮らしやすいまちづくりをすすめる仙台連絡協議会（略称：条例の会仙台）
●連 絡 先：事務局（CILたすけっと 内）
TEL：022-248-6054
FAX：022-738-9501
E-mail：jyoureisendai@gmail.com
URL：http://blog.canpan.info/jyourei

4/15 市民活動団体のためのWordPress講座

WordPress は世界で多く使われているホームページ作成ツールです。HTMLやスタイルシートを知らなくても実践的なサイト作りができます。講座は初心者向けで10時間（5時間×2日）のコースです。

●日　　時：4月15日（水）・22日（水）
いずれも10:00〜16:00（1日5時間）
●場　　所：みやぎNPOプラザ　Paso Cafe（仙台市宮城野区榴ヶ岡5／駐車場有）
●対　　象：パソコンの基本操作ができる方
●定　　員：4名（先着順）
●申込方法：4月10日までホームページの申込み欄から
●参 加 費：12,000円（2日分、テキスト・資料代含む）
実習用のパソコンは用意しますが、Wi-Fi対応であれば持ち込み可能
実習で使用するサーバーを用意し、受講後も2ヵ月間練習用とし利用可能
●主　　催：NPO法人イー・エルダー東北支部
●連 絡 先：TEL/FAX：022-796-8091
E-mail：tohoku@e-elder.jp
URL：http://www.e-elder.jp/tohoku/

4/15 あなたの心に寄りそう　傾聴サロン

誰かとゆっくり話がしたい、悩みを聞いてほしい、自分のことを分かって欲しいなど、あなたの不安や悩み、誰にもいえない心のうちを話しに来ませんか。
誰かに話す（放す）ことで、心の重荷が軽くなり、気持ちの整理もできると言われています。当会のカウンセラーが対応します。個別で対応しますので、被災された方、一般の方、どなたでもお気軽にご参加ください。（守秘義務厳守…プライバシーは守ります）

●日時場所：【岩沼会場】4月15日（水）10:00〜15:00
・場所：岩沼市総合福祉センターiあいプラザ
【名取会場】4月19日（日）10:00〜15:00
・場所：名取市市民活動支援センター
【仙台会場】5月2日（土）10:00〜15:00
・場所：仙台市福祉プラザ
●対　　象：被災された方、一般の方
●参 加 費：無料
●申込方法：要事前予約。下記連絡先にお問合せのうえ、お申込ください
●電話相談：毎週火・木・土曜日9:00〜17:00
【相談専用TEL】080-3199-4481
●主　　催：NPO法人仙台傾聴の会
●連 絡 先：TEL/FAX：022-343-9705
携帯：090-6253-5640
E-mail：moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp
URL：http://sendaikeicho.web.fc2.com/

4/16 「墓じまい」講演会 〜墓守の後継者がいないお墓を処分する 墓じまい〜

廃墓、改葬、合祀などについてお話します。

●日　　時：4月16日（木）13:30〜15:00
●場　　所：NPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台（仙台市青葉区一番町2-5-12一番町中央ビル8階）
●講　　師：元葬儀会社アドバイザー　高橋誠氏
●参 加 費：300円（コーヒー付）
●連 絡 先：NPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台
シニアセンター　一番町サロン
〒980-0811　仙台市青葉区一番町2-5-12
一番町中央ビル8階
TEL/FAX：022-217-0101（及川）
URL：http://www.sendai-senior.org/rev0/

4/16 つるがや元気会市民講座「知って得する、仏事のあれこれ」

納得のいくお葬儀を、予算の範囲内で行うために、葬儀の形態や費用のことなど、事前に考えることが必要です。

●日　　時：4月16日（木）14:00〜15:30
●場　　所：鶴ケ谷市民センター（みやぎ生協鶴ケ谷店2階）
●講　　師：角地了氏（株式会社清月記次長、一級葬祭ディレクター）
●参 加 費：無料

※4月開催日: 4月15日(水)
●開催場所：仙台市市民活動サポートセンター　研修室
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
●対 象 者：仙台夜間中学では現在20代～80代の方々が学んでいます
・家庭の事情で中学校に通ったことのない人
・障がいがあって中学校時代満足に勉強ができなかった人
・中学校の教科をもう一度学びたいと思った人
●内 容 等：・小学校・中学校の学習範囲を、年齢・学歴・国籍に関係なく学べます
・希望する科目をボランティア講師が丁寧に教えます
・事前に連絡いただきますと勉強内容の打合せができます
※中学校卒業の資格は取得できませんので、ご了承願います
●参 加 費：入学金・授業料は不要、いつでも入学できます
●申込方法：事前にご連絡いただければ見学はいつでも可能
●主　　催：仙台に夜間中学をつくり育てる会
●連 絡 先：TEL：090-7562-3227(担当:中澤)
E-mail：c.yasaka.r@ab.auone-net.jp

被災地のお母ちゃんたちに、手仕事を。「園児エプロンプロジェクト」販売予約受付開始！

南三陸町歌津と気仙沼の女性たちが、園児用エプロンを縫っています。津波で多くのものを失ったお母ちゃん達。震災前までやっていたミシンで何かを作り、自立したいと強い意思と笑顔で頑張っています。そこで、保育園などで使う園児用エプロンを縫ってもらっています。(販売利益全額を縫子料としてお渡ししています)

●販売価格：1セット(園児用エプロン2枚組)1,000円(税込・送料別)
●申込方法：E-mailにて、件名に「園児用エプロン希望」と明記し、希望セット数、送付先住所、氏名をお知らせください。確認後、返信メールをお送りします。
●申込締切：4月末日
●主　　催：園児エプロンプロジェクト
●連 絡 先：担当：大坂
E-mail：enjiapron@gmail.com

栗原パソコン教室

パソコンに興味のある人、高齢者、障がい者のための「教えあい学習」を行っています。ご自身のパソコンを持参して学べます。ご希望の方は是非ご連絡ください。一緒に楽しく学びましょう！

●日　　時：毎週月曜日～土曜日
●場　　所：9会場12教室で開催。参加しやすい曜日、会場が選べます。
【月】志波姫、【火】一迫・鶯沢、【水】築館・高清水、【木】若柳・金成・築館、【金】瀬峰・栗駒、【土】金成・築館
●内　　容：文書作成
●参 加 費：会費2,000円/月(月4回受講)　入会金1,000円
●主　　催：IT同好会フレッシュパール会
●連 絡 先：〒987-2216　栗原市築館伊豆2-6-1
TEL：0228-22-6208／080-1830-2822
URL：http://it-freshpearl.jimdo.com/

会　員　募　集

NPO法人シニアサロン井戸端会議 新会員募集中

井戸端会議は「シニアの癒しのオアシス」です。「好きな時間」に「好きな事」を「好きな仲間」とスポーツ、趣味、勉強、ボランティア、社会奉仕活動、コミュニティビジネスなどで楽しみませんか。

●会　　費：月額1,000円
(新会員は別途登録料2,000円いただきます)
●申込方法：下記連絡先にFAX・E-mailでご連絡ください。
●応募主体：NPO法人シニアサロン井戸端会議
●連 絡 先：〒980-0801　仙台市青葉区木町通1-2-40
Mビル3階
TEL/FAX：022-263-7079(事務所&イベントルーム)
TEL/FAX：022-263-7077(居酒屋「井戸端会議」)
携帯：090-8619-3940(高橋)
090-1496-2213(羽田)
E-mail：npo.idobata@gmail.com
URL：http://idobata-kaigi.org/

イ　ベ　ン　ト

4/7 うぅーん?分かった！と言えるパソコン講座

「さぁこれからパソコンを使ってみよう！」「パソコンを使っているけどちょっと？」パソコンを使うと思わぬところで……。そのような方向けに、パソコン講座を開催しています！【ワード、エクセル、メール、デジカメなどなど】個別ニーズに対応いたします。お気軽に受講して下さい。

●日　　時：すべて火曜　13:00～14:45
4月7日、4月14日、4月21日、4月28日
●場　　所：みやぎNPOプラザ(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
●参 加 費：1,000円

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2015.3.16現在)敬称略

●正会員　50名
<仙台市>　●関本英太郎
●賛助会員　78名

会　員　募　集

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	一口　3,000円
賛助会員NPO	一口　5,000円
賛助会員企業・団体	一口 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座
口座番号　**02250-0-43800**
加入者名　**特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる**
会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。

information

3月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

ひろがれ！冒険あそび場 ～あそび場ボランティア募集中～

子どもと関わることで「童心に帰れる」「等身大の子どもに出会える」「教育、保育、福祉などを子どもを通して学べる」「いろいろな人に会える」「運動不足の解消！ストレス発散！」など、さまざまな「イイコト」が待っています！

●活動場所：①七郷あそび場
・日時：毎月第2土曜日9:30～17:00
②六郷あそび場
・日時：毎月第2日曜日9:30～17:00
※この日程は参加が難しいけれど、参加してみたい！という方は、上記以外の日程での体験も可能です。下記連絡先までお問合せください。
●活動内容：★子どもと関わる（遊ぶ、しゃべる、時には一緒にご飯…）
★準備・片づけ（荷物の積み下ろし、道具の整備、セッティング…）
★人とつながる、人をつなげる（挨拶、おしゃべり、遊びに巻き込む…）
★リスク管理（健康・安全面への配慮、遊具チェック、声掛け、見守り…）など
●参 加 費：無料（別途ボランティア活動保険加入代金がかかります）
●申込方法：下記連絡先にTEL・E-mailで申込み。
●連 絡 先：NPO法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク（担当：斉藤）
〒984-0826　仙台市若林区若林5-1-7
TEL：070-6492-6232
E-mail：boukenhiroba@bz01.plala.or.jp
URL：http://www.bouken-asobiba-net.com/

とっておきの音楽祭　当日ボランティア募集

音楽祭当日、運営のお手伝いをご協力いただける方を募集しています！

●活動日時：6月7日（日）8:00～20:00（予定）
●活動場所：仙台市内　各開催場所
●活動内容：1、ステージ運営（出演者の出入りの誘導、楽器や機材セッティング、観客の整理と誘導、カンパ呼びかけ）
2、ECOリサイクル活動（当日のゴミの廃棄物リサイクルのため、分別する）
3、警備/クリーン部隊（会場内にあるステージを巡回しながら、観客の整理、安全確認、ゴミなどを撤去する）
4、手話通訳（各ステージでの手話通訳。全ステージに手話通訳をつけます）
5、各ステージでの司会進行・インフォメーション（全ステージにMCをつけます）
●参 加 費：500円（当日に着るスタッフTシャツ代のご協力をお願いします）
●申込方法：下記URL「ボランティア申込フォーム」からお申込みください
http://form1.fc2.com/form/?id=528594
●事前説明会：5月31日（日）予定
●募集主体：とっておきの音楽祭実行委員会SENDAI
●連 絡 先：〒980-0014　仙台市青葉区本町2-9-3 6階
TEL：022-265-0980
E-mail：info@totteokino-ongakusai.jp
URL：http://totteokino-ongakusai.jp/

お　知　ら　せ

第48回もったいない市 地球にやさしい 人にやさしい リユースマーケット出店者募集

ご家庭の不用品を楽しく販売しませんか？ご家庭で不用になった品物をお持ちください。※商売がらみの販売や業者の方の応募は固くお断りします。

●日　　時：4月26日（日）10:00～15:00（雨天中止）
●場　　所：勾当台公園　市民広場
●内　　容：1シート/2.5m×2.5m
●定　　員：50シート
●参 加 費：3,000円
●申込方法：下記連絡先まで「代表者氏名、住所、電話番号（当日も連絡可能な番号）/FAX」「参加人数」「販売品名」を明記のうえ、往復はがき、E-mail（携帯メール不可）、FAXにて申込み
※FAXでの申込みはFAX番号も明記
●申込締切：4月18日（土）
●主　　催：ACT53仙台
●連 絡 先：TEL：070-5322-2976　FAX：022-295-2910
E-mail：act53sendainakama@yahoo.co.jp
URL：http://blog.canpan.info/act53sendainakama/

事　業　案　内

「仙台自主夜間中学」2015年度生徒募集！

「仙台自主夜間中学」は、家庭の事情、病気などで小・中学校に行けなかった人、小・中学校を卒業していても、基礎学力が不十分のため、日常生活をするうえで不便を感じている人、現在さまざまな理由で学校に行っていない人たちの入学をお待ちしています。

●開催日時：【昼間部】毎月第1、3水曜日　14:00～16:30
【夜間部】毎月第1、3水曜日　18:00～20:30

みやぎの居場所づくり助成

この度、真如苑では宮城県内の地域において支え合いの地盤が醸成され、
地域が発展していくお手伝いができればと考え、「みやぎ居場所づくり助成」を始めました。
この助成は福祉活動に関わる継続的な居場所づくりの地域活動を
支援・育成することを目的としております。多くの皆様のご応募をお待ちしております。

応募締め切り
平成27年
4月30日(木)
消印有効

✽対象事業✽

高齢者、障がい者、児童、女性、青年など、その人らしく過ごせ、様々な課題を支援するための居場所づくりをする民間団体およびボランティアグループによる活動。

✽助成団体✽

宮城県内で活動し、概ね1年以上の活動実績がある非営利及び公益的な活動をする団体およびグループ（法人格の有無は問わない）。

※政治または宗教布教を目的とする活動およびそれらの活動と連動性、一体性を持つ活動は対象としません。

✽助成金の額✽

1件あたり上限30万円、下限10万円（助成金総額150万円）

✽応募にあたっての注意事項✽

詳細は下記URLをご確認ください。
助成金申請書など必要書類も下記URLからダウンロードできます。

URL：http://www.ibasyo-josei.jp

問い合わせ・書類送付先

真如苑　みやぎの居場所づくり助成事務局
〒190-0015 東京都立川市泉町935-27（真如苑・社会交流課内）
TEL：042-538-3892（直通）　FAX：042-538-3841
MAIL：koubo-miyagi@ibasyo-josei.jp

みやぎNPOプラザ
短期ショップスペース使用団体募集

みやぎNPOプラザでは、NPOがコミュニティ・ビジネスを実践する場として、ショップスペースを設けています。ショップスペースには常設（最長3年まで）と短期（最短6日、最長2か月）の2種類があり、短期ショップは随時使用団体を募集しています。コミュニティ・ビジネスに挑戦をしてみたいNPOの皆さん、長期的な出店には不安がある、というNPOの皆さん、まずは短期ショップでお試し出店をしてみてはいかがでしょうか？なお、出店につきましては審査があります。使用の要件につきましては、みやぎNPO情報ネットでも掲載しています。
詳しくは事前にみやぎNPOプラザまでお問合せください。

●利用料金：200円／日　●広さ：約5㎡

お問い合わせ お申し込み先
●みやぎNPOプラザ　〒983-0851 仙台市宮城野区榴ケ岡5
TEL：022-256-0505　FAX：022-256-0533
●みやぎNPO情報ネット　http://www.miyagi-npo.gr.jp/

杜の伝言板 ゆるる
発行：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL 022-791-9323　FAX 022-791-9327
E-mail npo@yururu.com　URL http://www.yururu.com
編　集：大久保　朝江　大西　直樹　村上　千恵
デザイン：can
表紙イラスト：きのこ
発 行 日：2015年4月1日
発行部数：9,000部
印　刷：コマツ・コーポレーション
VEGETABLE OIL INK